

**タイトル：やってもやっても終わらない  
名もなき家事に名前をつけたら  
その多さに驚いた。**

**著者：梅田 悟司 出版：サンマーク出版  
2019年**

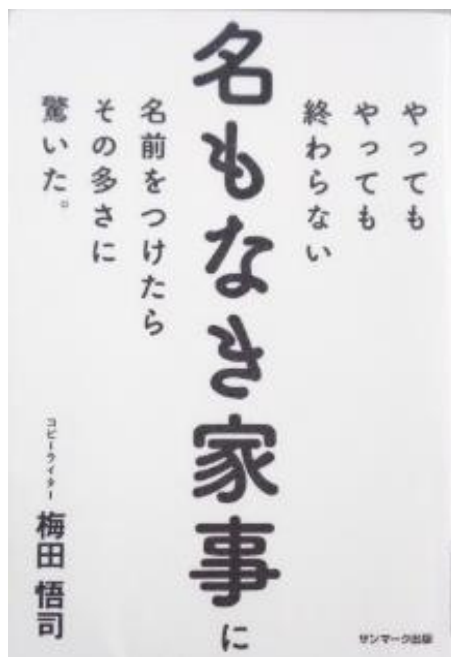
みなさんは、年末の大掃除を無事終え、新年を心地よく迎えられることと思います。

大掃除だけでなく、日々の家事をこなした夜、「今日はなぜこんなにバタバタと忙しかったのかな？」と首をかしげることがありませんか？

それ、「名もなき家事」のせいかもしれません。子供の誕生を機に家事を始めたコピーライターが、大変さに気づき、当たり前のようにこなしている人に、尊敬の念を込めて、オシャレな名前を付けてくれています。相方探し、早すぎる一手、家事渋滞、開閉地獄、などなどどんな家事だと思いますか？

家事をする人は、楽になるわけではないけど、ちょっと笑って家事に取り組みます。家事をしない人も、際限がない「名もなき家事」の積み重ねをしてくれる人がいて毎日当たり前で過ごせる奇跡に敬意を持つことができるようになる一冊です。

こんな本を読んできました



呉市の歴史と関わりの深い  
「海」に関する  
所蔵資料を紹介します。



海の文庫

**タイトル：南極ないない**  
**著者：小塩哲朗 漫画：二平瑞樹**  
**出版：中日新聞社 2016年**

「南極」といえばどのようなイメージを持っていますか？

南極地域観測隊として南極へ行った著者が、自身の体験をもとに南極で『ない』ことや『ない』ものについて50のテーマで書かれており、行ったからこそ知ることが出来る情報をユーモアを交えながら教えてくれます。

実際に行った著者は「期待どおりの世界でもあり、想像とは違う世界でもあった」と書いています。南極観測隊って全行程船では『ない』んだとか、南極って夏は最低気温がマイナス4℃くらいで意外に寒く『ない』んだとか、「え？ そうなの？」「へー！」と驚くことがたくさんありました。

好奇心の強いペンギンの足跡を見たくありませんか？

